

郵政博物館紹介

「郵政博物館」の発足について

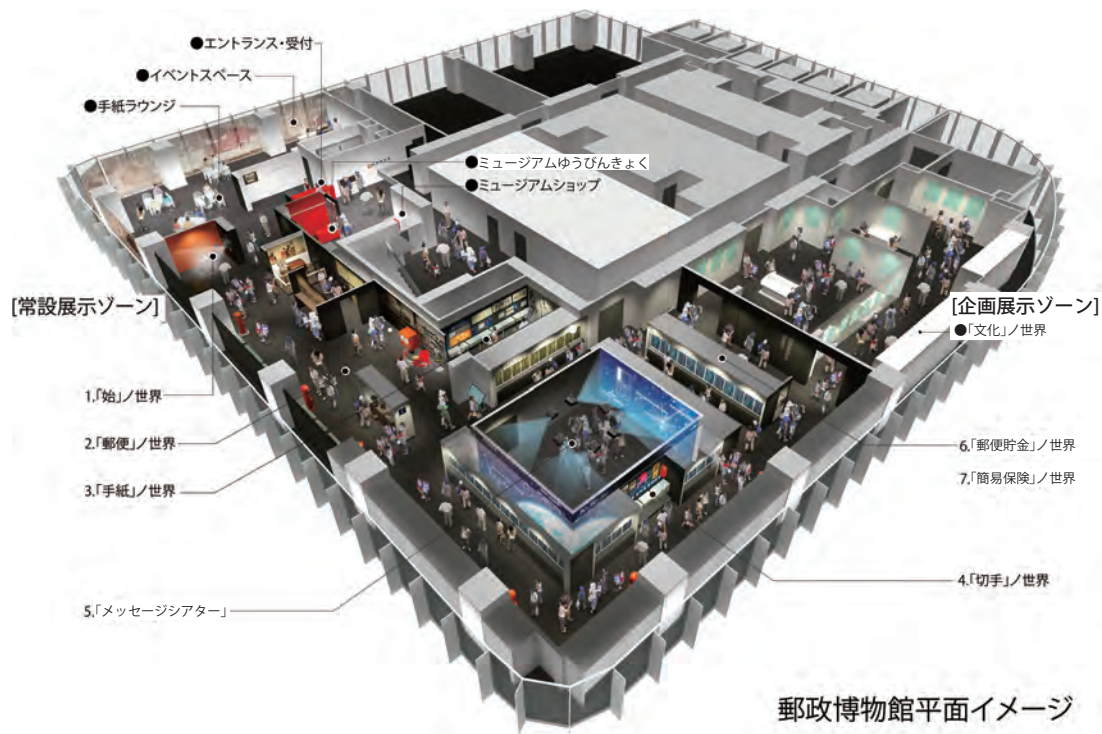
井上 卓朗

はじめに

郵政博物館 Postal Museum Japanは、通信総合博物館の歴史と資料を引き継ぐ博物館として発足したもので、2014年3月1日（土）東京スカイツリータウン®9階（東京都墨田区押上）に新展示場がオープンいたしました。

「心ヲツナグ 世界ヲツナグ」をコンセプトとする新展示場には「常設展示ゾーン」、「企画展示ゾーン」、「手紙ラウンジ」、「イベントスペース」、「ミュージアムゆうびんきょく」、「ミュージアムショップ」のコーナーがあり、重要文化財を含む約400点の実物資料や日本最大となる約33万種の切手によって郵便や通信の歴史にまつわるさまざまな物語が紹介されています。

さらに、最新のデジタル技術を駆使した体験・体感型コンテンツによって、通信の文化がもたらす人と人との心のつながりを楽しく感じていただくことができるように工夫されています。



郵政博物館平面イメージ

郵政博物館の概要

■ 常設展示ゾーン

1. 「郵便」ノ世界

日本郵便の歴史を、実物資料や新たに製作した復元模型を展示して紹介しています。

【主な資料展示】

日本初の鉄製赤色ポストである俵谷式ポスト、中村式ポストの実物大復元模型、人車、時計

2. 「手紙」ノ世界

江戸時代の手紙など歴史的価値の高い手紙や、著名人の手紙などを展示しています。

【主な資料展示】

大久保利通から前島密にあてた手紙

3. 「切手」ノ世界

日本最大の所蔵数を誇る世界中の切手約33万種を一堂に展示しています。

4. 「郵便貯金」ノ世界

明治8（1875）年にスタートした郵便貯金、それぞれの時代で使用された算盤や貯金通帳などを展示し、人々の生活とともに歩んだ歴史を紹介しています。

5. 「簡易保険」ノ世界

大正5（1916）年に時代のニーズと共にスタートした簡易保険。その歴史や、国民の健康を考え生み出されたラジオ体操などについても紹介しています。



【「郵便」ノ世界】



【俵谷式ポスト】

■ 「文化」ノ世界

「エンボッシング・モールス電信機〈ペリー将来／米国製〉」、「エレキテル〈平賀家伝来〉」、「ブレゲ指字電信機」など重要文化財を順次展示するほか、郵便や通信にまつわる貴重な歴史的資料を紹介していきます。



【エンボッシング・モールス電信機】

■ 企画展示ゾーン

時節にあわせ、郵便や手紙、切手などに関するさまざまな企画展を開催します。

■ 手紙ラウンジ

博物館入口近くにある休憩スペース。

くつろいで手紙が書けるだけでなく、体験・体感コンテンツも楽しむことができます。

■ イベントスペース

企画展などに連動した様々なイベントを行います。

■ ミュージアムショップ

「郵政博物館」オリジナルグッズや郵趣関連商品、通信の歴史に関する図書などを販売しています。



【ミュージアムショップ】

■ ミュージアムゆうびんきょく（向島郵便局臨時出張所）

東京スカイツリータウン®内で初めての郵便局です。企画展やイベントに合わせて思い出となる手紙を送ることができます。

■ 最新技術を駆使した体験・体感コンテンツ

① 「始」ノ世界

建物や物体、空間などに映像を映し出すプロジェクションマッピングの技術を用いて、郵便・電信・切手の歴史が移り変わるさまを表現した映像を投影しています。

② 郵便配達シミュレーター 『Go! Go! ポストマン』

バイクでの郵便配達を疑似体験できるシミュレーションゲームです。人の動きを感知して操作できるKinectセンサーにより、体や手を前後左右に動かすことでスクリーン上での郵便配達のミッションをこなしていきます。



【Go! Go! ポストマン】

③ 『デジタル切手帳（Stamp Pond）』

タッチパネル操作で切手データベースからお好みの切手を探せる検索・閲覧システムです。「花」「人物」「珍しい」「かわいい」などの既定の検索キーワードをタッチすることで、キーワードに沿った切手がランダムに画面上に表示されます。



スタンプ ポンド
【デジタル切手帳（Stamp Pond）】

④ 『メッセージシアター』

3面に配置された高さ約2m×幅（7m+3.5m+3.5m）のスクリーンを使って、独特な世界観で通信・郵便の今昔を表現した映像を投影しています。

「伝える」をテーマに、通信手段を独自の感性でシンボリックに表現した『宇宙（そら）の手紙』、江戸から京都を旅する二人の道程を絵巻上で描いた『江戸旅物語』、東京と大阪2つの中央郵便局の設計者吉田鉄郎と通信建築のモダニズムに光をあてた『通信建築（中央郵



【メッセージシアター】

便局)』、という3パターンの映像を用意しています。

※オープン時は『宇宙(そら)の手紙』のみ放映

⑤『ゆうちょ・かんぼアドベンチャー』

郵便貯金・簡易保険の大切さを遊びながら学べるコンピュータゲームで、横にスクロールしながら、各ステージの障害や敵を郵便貯金や簡易保険を使ってクリアし、ゴールを目指します。



【ゆうちょ・かんぼアドベンチャー】

⑥『レッツエンジョイ ラジオ☆体操』

簡易保険の国民保険体操から生み出されたラジオ体操を、Kinectセンサーを用いて楽しみながら学ぶゲーム。模範体操の映像と音声が流れているモニターの前で、プレイヤーがラジオ体操を行います。自身の姿がモニターに映し出され、正確な動きを行うと星形のスタンプや丸型の光などといったエフェクトが表示されます。



【レッツエンジョイ ラジオ☆体操】

⑦『絵葉書クリエイター』

世界に一つだけのオリジナル絵葉書を作成するタッチパネル式プリントマシンです。郵便に関連ある背景とキャラクターの中に自らの顔写真を挿入したり、スタンプや文字でデコレーション加工をすることでオリジナルのはがきが作成できます。また、6種類のBGMからお好きな音楽をQRコードに変換し、添付することが可能です。読むだけではない、新しい手紙のスタイルを楽しめます。



【絵葉書クリエイター】

■ 郵政博物館利用案内

【名称(和文)】 郵政博物館

【名称(英文)】 Postal Museum Japan

【オープン日】 2014年3月1日(土)

【住所】 〒131-8139 東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ9階

【コンセプト】 「心ヲツナグ 世界ヲツナグ」

【展示品数】 世界の切手約33万種、その他通信・郵政に関する国内外の資料約400点

【開館時間】 10:00~17:30(入館17:00まで)

※混雑具合によっては、時間制の入館整理券を配布することもあります。

【休館日】 不定休 ※展示替え及び設備点検などにより臨時休館をすることもあります。

【TEL/FAX(一般)】 TEL 03-6240-4311

FAX 03-3625-2521

【HP】 <http://www.postalmuseum.jp/>

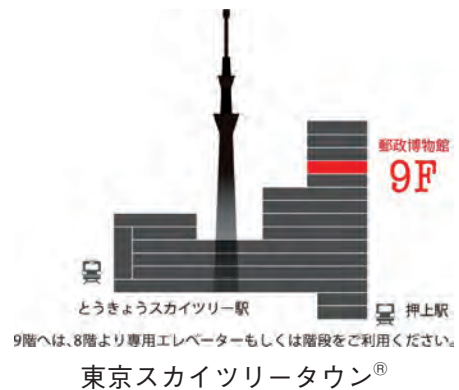
【敷地面積】 約922㎡ (最大収容人数: 300名)

【入館料】 大人 300円 小・中・高校生150円

*障がい者手帳をお持ちの方と介護
の方は無料

【団体】 10名から

料金は大人250円 小・中・高校生100円



【アクセス】

【交通】 東武スカイツリーライン:「とうきょうスカイツリー駅」下車

東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線

京成押上線 都営浅草線:「押上(スカイツリー前)駅」下車すぐ

※博物館専用の駐車スペースはございません。公共の交通機関をご利用ください。

【東京スカイツリータウンイーストヤード9階へのアクセス】

エスカレーターまたはエレベーターで8階まで

8階で8-10階専用エレベーターへ乗りかえ、9階で降り右折正面

【ロゴ・マーク】



郵便・通信を象徴する手紙を携えた伝書鳩をモチーフに、心のあたかさとポストをイメージさせる赤を基調にしたものとなっています。また郵政博物館の英語名である「POSTAL MUSEUM JAPAN」の頭文字であるPにも見てとれるようなデザインに仕上がっています。

常設展示場



「始」ノ世界入口



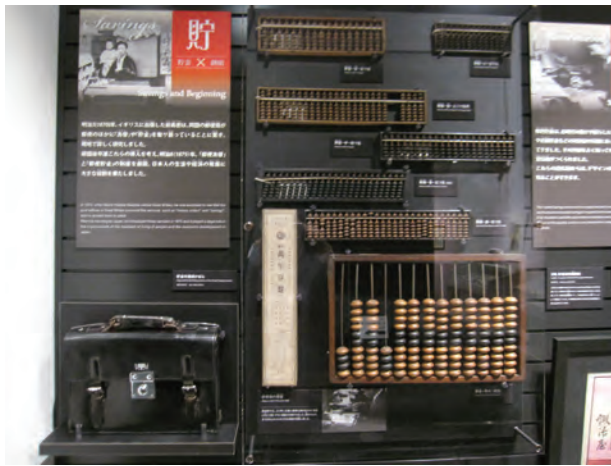
「郵便」ノ世界（灯器、人車模型等）



「郵便」ノ世界（人車、書状集箱、黒ポスト等）



「郵便」ノ世界（集配袍、制帽等）



「郵便貯金」ノ世界（外務員用袍、算盤、貯金箱）



「簡易保険」ノ世界（簡易保険ポスター、カンちゃん、国民保健体操ポスター）

展示場制作：株式会社丹青社

■ 郵政博物館資料センターについて

逓信総合博物館から引き継がれた約200万点の資料は、郵政博物館資料センターに収蔵されました。

※所蔵資料の内容については、郵政資料館研究紀要創刊号（平成22年3月9日発行）の所蔵資料概要をご覧ください。

(http://www.postalmuseum.jp/publication/research/docs/research_01_09.pdf)

【概 要】

名 称	郵政博物館資料センター Postal Museum Japan Research and Documentation Centre
所在地等	千葉県市川市香取二丁目1-16 Tel 047-316-1121、ファックス番号 047-306-8452
活動内容	郵政博物館が所蔵する資料の保存、整理、調査・研究活動を行っています。 当センターでは、所蔵資料に関する照会のほか、調査・研究等のための閲覧・撮影等の申請に対応しています。 (詳しくは http://www.postalmuseum.jp/)
面 積	総面積：1778.91㎡ 事務室・資料整理室：314.54㎡ 資料室：1,464.37㎡
各 室	1 階：撮影・閲覧室、展示作業室、資料室(1) 2 階：前室、資料室(2) 3 階：事務室、資料整理室(1)～(2)、資料室(3)～(5)
資料室(2)空調設備 (貴重資料収蔵)	●23℃±1℃、RH50%±5%、ソックフィルターを採用。 ●空調設備の停止等外乱要因を抑える不透湿地板と調湿建材にて湿度変化を抑えるシステム。 ●内装の下地に両面アルミフィルム仕上げの下地板で不透湿性を高め、庫外からの湿気や汚染因子の流入を防ぐ構造。 ●壁・天井には、調湿性建材（キュアライト）を採用し湿度変化を緩和。 ●外気導入を10%弱、庫内に使用する建材や接着剤などはVOC、アルデヒド類、有機酸、アンモニアなどの放散量の少ないものを選定。
資料室照明設備	●資料室(2)はすべてLED照明、その他NUV蛍光灯。
施 錠	●通用口及び資料室のセキュリティーは、カード認証式。
警 備	●警備会社機械警備（夜間、休日） ●資料室に監視カメラを設置。
防災設備	●不活性ガス（窒素）消火。
耐震性等	●地震係数設計水平震度KH=1.9 ●増築部接合エクспанションの強度：3.11
断 熱 性	資料室(2)は二重壁断熱構造。その他は、窓を遮蔽。

施工：株式会社小野組 収蔵設備：株式会社クマヒラ
(いのうえたくろう 郵政博物館主席資料研究員)